

令和 7 年度

事業報告書

社会福祉法人津別町社会福祉協議会

令和 7 年度 事業報告

I 事業報告の概要

令和 7 年度は、コロナウイルス感染症は常態化し、地域の方は、感染対策に気を付けながら地域活動を続けてきています。

津別町社会福祉協議会は、意思決定支援フォローシステム事業と「地域におけるご近所つきあい調査」を主な事業として取り組んできました。

また、「第 3 期地域福祉計画・第 6 期地域福祉実践計画（令和 7 年度～令和 11 年度）」の 1 年次事業の評価を行ってきています。

地域福祉計画の基本理念は、「助け合い見守りで安心して住み続けられるまちをつつ」を目指し、住み続けられるまち・住みたいまちであるために、社会福祉協議会では、地域の現状から、事業の見直し評価を行いながら福祉活動を進めています。

3 月に理事・監事・評議員対象の研修会を開催し、道社協から「地域共生社会の実現に向けた社会福祉協議会の役割～地域での取り組みについて基本要項 2025 から考える～」と題し、地域福祉や社会福祉協議会の使命や組織について説明があり、個別支援と地域づくりの一体的展開を行っていくことが新たに「社会福祉協議会基本要項 2025」に加わったことを学びました。

重層的支援体制整備事業を行う中で、包括的な相談支援体制を整備するとともに地域の支え合い活動の充実、地域づくり活動の支援を行うなど、地域福祉の推進に努めてきました。

現在、民法の改正や社会福祉法の改正の動きがある中、意思決定支援の重視が問われ、より本人の意思の尊重が必要となってきました。

今年度実施した意思決定支援フォローシステム事業と「地域におけるご近所つきあい調査」の分析から課題を整理しながら、令和 8 年度では、個別の困りごとに対して、様々な社会資源と結びつけながら相談対応するとともに、地域における課題の共通性や活動の必要性などに着目して、業務を遂行していきます。

なお、介護事業については、利用者がいなく訪問入浴介護事業を令和 8 年 3 月 31 日付で廃止としたところです。

以下、具体的総括は、重点項目から報告します。

II 重点項目

1 重層的支援体制整備事業実施による包括的相談支援体制の充実

(1) 重層的支援体制整備事業の活動

多機関協働事業の中で、支援困難事例や多職種連携による支援会議を開催し、介入方法や支援について検討を行ってきています。また、ひきこもりを含め相談

窓口の強化に取り組みチラシやホームページの掲載やLINEでの相談対応を行っています。

各市町村や北海道地域福祉学会などに重層的支援体制整備事業の取組について、実践報告や視察やインタビュー調査に対応してきました。さらに厚生労働省社会・援護局の依頼により社会福祉推進事業の調査研究にかかわってきています。

(2) 相談支援包括化推進の役割と機能

オホーツク相談センターふくろうの支援調整会議・ケース検討会議との情報共有や自立相談支援機関と2事例4回打合せを行ってきました。

また、調査対応や講師として実践報告の活動を行っています。

相談員支援会議として、行政の各相談窓口の職員との連携・調整を行いながら、15事例の情報共有を行いながら7回開催し、重層的支援会議の開催はありませんでした。支援会議の開催は、2事例2回開催し、支援の方法を確認してきています。

(3) 身近な福祉相談所ぽっと

地域づくり支援として、身近な福祉相談所ぽっとは、現在4カ所（旭町第3、活汲中央、豊永第3、緑町第2）で開設し、地域の課題把握に努めながら、支援者への見守り等を行っています。

行政職員や社協職員は、各相談所の評価や課題から一年の方針を確認し取り進めています。職員の異動があるときは、目的等について学習しています。

「ぽっと」の研修会では、担い手の意識の向上・役割について学ぶ機会をつくり、地域支え合いマップを作りながら、活動の成果を体感してきました。

(4) ひきこもり者等社会的孤立者への支援

・居場所は、現在は月2回の開催とし、定期3名、不定期1名の利用状況です。スタッフは3名体制で軽作業や交流を行いながら継続した活動を行ってきました。

・社協あぐり（農園）作業では、農作業の参加はありませんが、あぐりの収穫物の作業などを居場所の利用者が行ってきました。

・令和7年度に「地域における「ご近所つきあい」調査」から、今後の支援対策を検討していきます。

(5) 権利擁護に関する取り組みの充実

あんしん生活サポートセンターでは、成年後見の相談や申立支援、後見等受任活動、福祉資金貸付相談、金銭管理等を継続して行ってきました。

成年後見等受任では、現在、市民後見人による個人受任4件、社会福祉協議会の法人後見5件。日常生活自立支援事業利用1件、ぽっと暮らしサポート事業契約5件でした。

また、市民後見人フォローアップ研修の実施や他市町との情報交換会の開催な

ど行いながら、市民後見人の活動支援を行ってきています。

津別町における意思決定支援フォロワーの導入について、意思決定支援フォロワーシステムを活用した高齢者・障がい者の意思決定支援モデル事業研修ワーキンググループ委員となり、事業の進行やフォロワー導入講座の開催やシステム勉強会及びフォロワーとの面談を行いながらフォロワー支援を行ってきています。

2 地域の支え合い活動の推進

(1) 自治会内における地域支え合い活動の取り組み

- ・サロン活動では、開催場所の確保や担い手の確保もあり、新規地区が増えず地区サロン 12 地区、運動サロン 2 地区、合計 14 地区でサロン活動を展開しています。年 1 回「サロン交流会」を開催し、各サロンのスタッフや参加者の交流や親睦を図ってきました。地区サロンでは参加者の減少もありますが、お弁当を食べながら話をする機会が、サロン内での交流では必要だと意見が出ています。
- ・各地域での見守り活動では、身近な福祉相談所 4 カ所やサロン活動での見守り、自治会で独居高齢者の見守り活動があり、地域での活動が行われています。災害時の要支援者の把握には、見守り活動の成果も見え、住民の情報の把握となっています。

(2) 介護予防いきいきポイント事業の推進

登録者事前研修会を開催し、新規登録者は3名でした。年度末登録者は147（男性 56 名、女性 91 名）名となっています。

今後も、地域の支え活動の推進を図るため、事前登録研修会やフォローアップ研修会を通じて新たなボランティアの発掘を継続していきます。

また、令和 7 年度のポイント交換者は、69 人、311,000 円（令和 6 度 70 人、211,500 円）となりました。社協事業の運営には、多くのボランティアの協力で行われています。

今後も、希望するボランティアの活動の場を広め、ボランティアの活躍を応援していきます。

3 生活支援サービスの充実

(1) 生活支援サポート事業の推進とコーディネーターの取り組み

現在サポーター登録者は 67 名となり、サポート事業の利用登録者は 20 名で延 43 名が利用し、サポーターは延 65 名が活動しました。すべての自治会にサポーターの登録はされていないため、利用者とのマッチングが難しいケースもあります。

サポーターの拡大が望まれますが、サポート事業利用登録者が少なく、利用数も少ないため、サポーターの活動の場が少ない状況があります。利用目的も固定化しており、資源物の梱包やごみの搬出となります。また、お話しサポーターと

しての活動があります。

地域で必要とされる生活支援サービスについて、関係者と検討していきます。

(2) 認知症の人と家族の支援など認知症地域支援推進員の活動

町受託事業である認知症地域支援推進員としての活動を 2 名で行ってきました。

認知症サポーター養成講座を開催し、「ひとり歩き高齢者おかえり模擬訓練」も開催してきました。

9 月に「認知症になっても笑顔で暮らせるまちづくり」と題し、認知症に関する講演会を開催し、77 名の参加者で関心が高い結果でした。

また、認知症普及に合わせて津別町図書館や社協カウンター前で、認知症に関する本の展示を実施したほか、認知症茶屋、家族介護者の茶話会の開催を行いながら認知症の理解・普及啓発を行ってきました。

2 月 18 日にチームオレンジ「つべつのわ」が結成され、認知症サポーターが中心とした支援者をつなげる体制が整えられ、認知症地域支援推進員としてコーディネートしています。

(3) 福祉有償運送事業（移送サービス）の実施

地域福祉実践計画の課題の一つであった要介護者等への移送サービスは、町の補助をうけて福祉有償運送事業を平成 29 年 7 月から開始しています。事業登録者は令和 7 年度末で 194 人、実利用者も月平均 31 人前後の利用となり、定着した在宅福祉サービスになっています。

また、町のタクシー利用助成券交付事業が始まり利用者は、住み分けされて人口減少もあり利用者は減少していますが、町外への通院者の利用は継続しています。

現在は、車いす利用者が増えてきている中、車いす対応車両（計 3 台）によりサービスを行っています。現在、登録車両 4 台で実運転手 7 人と社協職員 5 人が運転手登録していますが、町外通院の利用により車両・運転手の確保などの課題が出てきています。

(4) 既存の福祉サービス事業等の充実

今年度も社協役員、ボランティアや地域住民の皆さんのご協力により、給食サービス、ふれあい郵便等の事業を推進することができました。

給食サービスは、配達ボランティアの協力を得て、月平均 46 名の利用者に週 2 回夕食を届けています。

令和 7 年度は、実利用者 58 名の利用となりました。入院等の影響で利用者の減少となってきています。

現在は、3 台の車両での配達ですが、ボランティアの確保や車の確保から配達区域の変更など検討が必要になってきています。

ふれあい郵便も絵手紙ボランティアの協力で毎月 150 枚前後を作成し、郵便配達員や 10 自治会で手渡しにより 80 歳以上のひとり暮らしの高齢者に配布しています。

自治会の福祉部から、絵手紙を使って声かけを行っているとの報告や、心配な状況の報告が提供されます。

また、対象者からは、絵手紙が届いた喜びを伝えられることもあります。

4 災害救援活動におけるボランティアセンターの運営

災害ボランティアセンターマニュアルの整備や災害救援用備品機材の確保などの準備を行っています。

災害に対しての危機感が薄い状況から、地震のニュースから防災の意識づけの必要性についての意見が出されます。

サロン活動や身近な福祉相談所「ぽっと」の活動で状況が把握されている地域もありますが、災害に対しての準備・想定を地域の方が考える必要性も伝えながら、今後も地域との連携を繋いでいきます。

5 町内の社会福祉法人や介護・福祉事業所との連携強化

令和4年4月から「社会福祉連携推進法人制度」が施行されましたが、町内の社会福祉法人との協議の場の提供を行っていません。

福祉サービス事業者間の連携では、つべつ福祉体験セミナー実行委員会の活動等で連携を行っています。各大学・学校を訪問し事業の周知を行い、動画等を作成しPRしてきています。

現在では、3介護事業所で外国籍の介護職員が勤めるようになっているほか、農業分野でも多くの外国人の方が働くようになってきています。

誰でもが安心して働き続けられる、住み続けられる町であるように今後も、他の法人、介護・福祉事業所との連携を強めていきます。

6 社会福祉協議会事務局活動の充実

(1) 社会福祉協議会財政基盤の確立

法人運営の財政は、会費や寄付金、事業収入としていますが、人口減少と合わせて厳しい現状になっています。財源確保のため、計画や内容の見直しも必要になってきています。

介護事業は、利用者がいないことと維持費の経費負担があることから、訪問入浴介護事業を令和8年3月31日で廃止としました。

今後も、地域住民に社会福祉協議会への協力・理解に努めながら福祉事業を進めていきます。

(2) 広報活動の充実

社協だよりは、当初計画通り年4回発行を行ってきました。また、社協ホームページの更新のほか、LINEやFacebookで情報発信や相談対応に努めています。

(3) 事務局体制の整備

令和6年度採用者が年度途中で退職となり、事業を進めていく中では、厳しい状況がありました。令和8年度に1名が採用となりますが、多様化する相談業務や委託事業の対応もあり、職員に求められるスキルが高くなっています。職員の育成やレベルアップと共に、新たな職員確保に取組み事務局体制の整備が課題となっています。

社会福祉協議会会議

■正副会長会議

- 第1回 令和7年5月28日（水）山田会長、大場副会長、篠森副会長
第2回 令和8年1月26日（月）山田会長、大場副会長、篠森副会長

■評議員選任・解任委員会

- 第1回 令和7年6月13日（金）委員4名

■理事会

- 第1回 令和7年6月6日（金） 13:30 ～ 14:50
出席者 理事11名 監事2名
第2回 令和7年6月23日（月） 15:00 ～ 15:25
出席者 理事10名 監事1名
第3回 令和7年9月3日（水） 15:00 ～ 15:55
出席者 理事7名 監事2名
第4回 令和7年11月28日（金） 13:30 ～ 13:47
出席者 理11名 監事2名
第5回 令和8年3月13日（金） 15:00 ～ 15:54
出席者 理事8名 監事1名

■評議員会

- 第1回 令和7年6月23日（月） 14:00 ～ 14:53
出席者 評議員12名、会長、副会長1名 監事2名
第2回 令和7年3月27日（金） 15:00 ～ 15:45
出席者 評議員11名、会長、監事1名

■ボランティアセンター運営委員会

- 第1回 令和7年5月26日（月） 14:30 ～ 14:50 出席者 委員6名

■在宅福祉サービス推進委員会

- 第1回 令和7年5月26日（月） 13:30 ～ 13:45 出席者 委員2名
第2回 令和8年1月16日（金） 13:30 ～ 14:00 出席者 委員4名

■歳末支援金配分委員会

- 第1回 令和7年11月27日（木） 14:00 ～ 出席者 委員3名

■内部監査

- 第1回 令和7年5月20日（火） 9:00 ～ 決算監査 監事2名
第2回 令和7年7月31日（木） 9:00 ～ 第1四半期 監事2名
第3回 令和7年10月31日（金） 9:00 ～ 第2四半期 監事2名
第4回 令和8年1月30日（金） 9:00 ～ 第3四半期 監事2名

研修会・会議・打合せ等

■定例民協（原則毎月第2木曜日） 出席者 小野事務局長

■グループホームほのぼの運営推進会議

令和7年6月11日（水） 小野事務局長

令和7年7月11日（金） 総会・交流会 立花係長

令和7年7月30日（水） 小野事務局長

令和7年9月24日（水） 小野事務局長

令和7年10月29日（水） 小野事務局長

令和8年2月25日（水） 小野事務局長

■夢ふうせんのか・ほんき運営推進会議

令和7年5月20日（火） 小野事務局長

令和7年7月16日（水） 小野事務局長

令和7年11月18日（火） 小野事務局長

令和8年3月30日（月） 小野事務局長

■災害ボランティアセンター設置運営訓練に係る説明会

令和7年5月21日（水） 門協事務局次長、立花係長

■まちづくりセンター運営協議会

令和7年4月21日（月） さんさん館 門協事務局次長

令和7年10月28日（火） 中会議室 門協事務局次長

■つべつ七夕まつり実行委員会

令和7年5月19日（月） さんさん館 門協事務局次長、山口主事

令和7年7月24日（木） さんさん館 門協事務局次長、山口主事

令和7年8月29日（金） さんさん館 山口主事

○つべつ七夕まつり 令和7年8月2日

■つべつ夏まつり実行委員会

令和7年4月22日（火） 健診ホール 立花係長

令和7年5月27日（火） 健診ホール 山口主事

○つべつ夏まつり 令和7年7月6日（日）

■津別町自治会連合会総会

令和7年5月23日（金） 健診ホール 小野事務局長

■津別高校 企業&職種説明会

令和7年5月30日（金） 津別高校体育館 門協事務局次長

■地域公共交通活性化協議会

令和7年6月4日（水） 14：30 ～ 門脇事務局次長

令和7年11月17日（月） 14：30 ～ 門脇事務局次長

■北海道社協職員連絡協議会第1回正副会長会議・ブロック代表幹事合同監事

令和7年6月19日（木）～20日（金） 門脇事務局次長

■社会を明るくする運動津別町推進委員会

令和7年6月20日（金） 山田会長

■オホーツク管内社協職員連絡協議会第1回正副会長・役員合同会議

令和7年6月26日（木）網走市 門脇事務局次長

■全道市町村社協会長・事務局長研究協議会

令和7年7月1日（月）～2日（火） 山田会長、小野事務局長

■北海道社協職員連絡協議会役員会・研修会

令和7年7月22日（火）～23日（水） 門脇事務局次長

■オホーツク管内市町村社協連絡協議会第1回正副会長会議

及び第1回会長、事務局長会議

令和7年7月24日（木） 網走エコーセンター 山田会長・小野事務局長

■安全運転管理者講習

令和7年7月25日（金） 美幌町民会館 門脇事務局次長

■母子家庭等就業・自立支援センター合同会議

令和7年8月1日（金） 中央公民館 小野事務局長

■つべつ福祉体験セミナー

令和7年8月6日（水）～8日（金） 小野事務局長、門脇事務局次長
（実行委員会）

令和7年8月13日（火） 門脇事務局次長

令和7年12月12日（金） 門脇事務局次長

■社協事業（令和6年度）実績町長報告

令和7年8月14日（木） 山田会長、小野事務局長、門脇事務局次長

■苦情解決システム研修会

令和7年10月3日（金） 札幌市かでの2・7 門脇事務局次長

- 管内社協職員連絡協議会 広域的活動交流会
令和7年10月23日（木） 網走エコーセンター 門協事務局次長
- 全道市町村社協事務局長連絡会議
令和7年11月6日（木） 札幌市かでの2・7 門協事務局次長
- つべつアイスクャンドルまつり実行委員会
令和7年11月20日（木） 欠席
令和8年1月15日（木） さんさん館 門協事務局長、山口主事
○第13回アイスクャンドルまつり 令和8年2月14日（土） 山口主事
- 津別町認知症高齢者等SOSネットワーク連絡会議
令和7年11月27日（木）14：00 健診ホール 門協事務局次長
- 1市4町社協会長・事務局長研修会
令和7年11月28日（金） 北見市 山田会長
- 津別町新年交礼会
令和8年1月9日（金） 商工会 山田会長
- オホーツク管内社協職員連絡協議会正副会長・役員合同会議
令和8年1月23日（金） 網走市 門協事務局次長
- 高齢者虐待防止ネットワーク会議
令和8年2月3日（火） 健診ホール 小野事務局長
- 津別町創生総合戦略会議
令和8年2月13日（金） 大会議室 房田監事
- 北海道社会福祉協議会地域部会代議員総会
令和8年2月24日（火） オンライン 山田会長
- 福祉計画策定委員会
令和8年3月3日（火） 小野事務局長
- 北海道社協職員連絡協議会正副会長会議・ブロック代表幹事合同会議
令和8年3月11日（水） オンライン 門協事務局次長
- オホーツク管内市町村社協連絡協議会第2回正副会長会議
及び第2回会長、事務局長会議・研修会
令和8年3月12日（木） 大江本家 山田会長

令和7年度 相談支援包括化推進事業実績報告

(1) ケース会議、事例検討会等

1) 令和7年度オホーツク相談センターふくろう支援調整会議・ケース検討会議

日 時 令和7年7月14日(火)(第4回)

場 所 美幌町役場 2階 第2会議室

職員の調整がつかず欠席したが、事前に情報共有を行った。

2) 自立相談支援機関との連携

令和7年5月 2事例

令和7年7月 1事例(自立相談支援機関同席面談)

令和7年8月 1事例(自立相談支援機関同席面談) 2事例4回

(2) 広報及び啓発、講師、調査対応

1) 調査対応

日 時 ①令和7年7月12日(土) 午前10時～午後4時

②令和7年11月27日(火) 午後2時～午後2時30分

依 頼 先 関東学院大学社会学部現代社会学科3年小沼ゼミ

内 容 ①津別町社協の事業などについてのインタビュー調査

②調査結果報告会

対 応 者 山田会長、立花係長

2) 講師対応

①日 時 令和7年7月2日(水)

場 所 札幌市 かでる2・7 520 研修室

依 頼 先 北海道社会福祉協議会

内 容 第2分科会実践報告

「住民とともに考える支え合いの地域づくり

～重層的支援体制整備事業を活用して～」

②日 時 令和7年11月25日(火)

依 頼 者 一般社団法人北海道総合研究調査会(HIT)

場 所 釧路市 道東経済センタービル

内 容 実践報告

「津別町における重層的支援体制整備事業の取り組みについて」

グループワークの講評

対 応 者 立花係長

③日 時 令和8年2月15日(日) 午後1時～午後5時

場 所 札幌市 北星学園大学 C館4階

依 頼 者 北海道地域福祉学会

内 容 「包括的な支援体制における多機関協働の仕組みづくり」

対 応 者 立花係長

(3) その他

1) 視察、見学対応

なし

2) 職員研修

日 時 令和7年9月25日(木)

令和7年10月22日(水)

用 務 地 社会福祉協議会 執務室(オンライン)

内 容 北海道地域福祉学会 2025 年度定例研究会

「包括的な支援体制の多様なあり方と支援の視点

北海道内市町村における効果的な地域福祉の推進を目指して」

参 加 者 小野事務局長・立花係長

令和7年度 アウトリーチ等を通じた継続的支援事業実績報告

(1) アウトリーチ等を通じた継続的支援プラン作成件数 1件

初回プラン 令和3年7月15日作成

更新プラン (10回目) 令和7年7月16日作成 (9回目評価あり)
(11回目) 令和8年1月16日作成 (10回目評価あり)

(2) 周知活動

1) ひきこもり支援の周知のためのチラシ折り込み

・家族対象

令和8年2月下旬に、経済の伝書鳩 1,814部、北海道新聞 900部
読売新聞 350部のチラシを折り込み

・当事者対象

令和8年3月上旬に、経済の伝書鳩 1,814部、北海道新聞 900部
読売新聞 350部のチラシを折り込み

2) ホームページ

ひきこもり支援についての周知やLINE相談について掲載を継続した

(3) 相談窓口の強化

令和4年度から、LINEでの相談対応や、ホームページを利用してひきこもり等の相談窓口の周知を行っており、継続している。

LINEの新規のひきこもりの相談はなかったが、関わりのあるケースからの時間外に発信はあった。本人が思った時に発信ができることはつながるためのツールの1つとして有効であると考え。こちらからは翌日に返信をすることで本人の思いを受ける止めることや支援につなげるきっかけとなるため、相談ツールの1つとして対応していく。

(4) 会議、職員研修

職員研修

① 日 時 令和8年1月27日(火) 午後2時～午後2時40分

用務地 津別町役場 社協執務室(オンライン)

内 容 令和7年度第5回どうねっと情報交換会
就労支援についての情報交換会

参加者 小野事務局長・立花係長

② 日 時 令和8年2月10日(火) 午後1時～午後3時15分

用務地 津別町役場 社協執務室(オンライン)

内 容 孤独・孤立する若者に迫る消費者被害
「つながりから始める若者支援」

参加者 小野局長

(5) 視察

日 時 令和7年11月26日(水)

場 所 津別町役場 大会議室

依頼先 鷹栖町・鷹栖町社会福祉協議会・富良野市社会福祉協議会

内 容 「ひきこもりの実態調査の実施等について」
「ひきこもり者等社会的孤立者への支援について」

対応者 小野事務局長、門脇事務局次長、立花係長

令和7年度 多機関協働事業実績報告

(1) 支援困難事例や多職種連携による支援会議開催実績

1) 開催実績 2事例 2回開催

内訳 令和8年 1月 1件 (新規1件)

2月 1件 (新規1件)

2) 支援会議検討事例「金銭的な課題のある父子世帯への介入方法について」 「精神科入院中の住民の金銭的課題の支援について」

3) 招集メンバー 対象者ご家族、精神科病院、基幹相談支援センター、 オホーツク総合振興局社会福祉課 津別町保健福祉課 津別町社会福祉協議会、

(2) 相談員支援会議開催実績

1) 参加者 ・役場保健福祉課(健康推進係・福祉係・介護保険係・高齢者 相談係)の管理職と係長職

・社会福祉協議会の管理職、係長職(相談支援包括化推進員)

2) 開催実績 7回 (令和7年4月・5月・7月・9月・11月・ 令和8年1月・2月)

3) 協議内容 情報共有事例15事例 情報共有後の経過報告 身近な福祉相談所「ぽっと」の活動について 「地域における「ご近所つきあい」に関する調査」について 各係からの周知と情報共有について

(3) 重層的支援会議の開催

開催実績 なし

(4) 講師・周知活動など

①日 時 令和7年11月25日(火)

依頼者 一般社団法人北海道総合研究調査会(HIT)

場 所 釧路市 道東経済センタービル

内 容 実践報告

「津別町における重層的支援体制整備事業の取り組みについて」
グループワークの講評

対応者 立花係長

②日 時 令和8年2月15日(日) 午後1時～午後5時

場 所 札幌市 北星学園大学 C館4階

依頼者 北海道地域福祉学会

内 容 「包括的な支援体制における多機関協働の仕組みづくり」

対応者 立花係長

(5) 視察・インタビュー調査対応

日 時 ①令和7年7月12日(土) 午前10時～午後4時
②令和7年11月27日(火) 午後2時～午後2時30分
依 頼 先 関東学院大学社会学部現代社会学科3年小沼ゼミ
内 容 ①津別町社協の事業などについてのインタビュー調査
②調査結果報告会
対 応 者 山田会長、立花係長

(6) 職員研修

①日 時 令和7年4月5日(土) 午後1時30分～午後3時
用 務 地 社会福祉協議会 執務室
内 容 第3回やさまちオンラインサロン
「地域共生社会と重層事業のこれから」
参 加 者 小野事務局長・立花係長
②日 時 ①令和7年9月25日(木) 午後3時～午後5時
②令和7年10月22日(水) 午後3時～午後5時
用 務 地 社会福祉協議会 執務室
内 容 北海道地域福祉学会2025年度定例研究会
「包括的な支援体制の多様なあり方と支援の視点
北海道内市町村における効果的な地域福祉の推進を目指して」
参 加 者 小野事務局長・立花係長

令和7年度 地域づくり支援（共助の基盤づくり）事業実績

（1）身近な福祉相談所「ぽっと」

1）開催実績

現在、町内4か所で開催。

地域住民で構成されている担い手と、役場保健福祉課（健康推進係、福祉係、介護保険係、高齢者相談係）と社協職員、相談支援包括化推進員（立花）で構成。

① 旭町第3ぽっと（職員は奇数月に参加）

開催日 毎月第3水曜日 10:00～

構成メンバー 7名 内訳：担い手 4名（男性1名・女性3名）
職員 3名（役場2名・社協1名）

開催回数 12回

② 活汲中央ぽっと（令和8年1月から偶数月に開催）

開催日 毎月第2火曜日 10:00～

構成メンバー 12名 内訳：担い手 8名（男性6名・女性2名）
職員 4名（役場3名・社協1名）

開催回数 10回

※開催前の担当職員事前打ち合わせ 10回

・前回の振り返りと次回の方角性について

③ 豊永第3ぽっと（職員は奇数月に参加）

開催日 毎月第4水曜日 14:00～

構成メンバー 12名 内訳：担い手 9名（男性5名・女性4名）
職員 3名（役場2名・社協1名）

開催回数 12回

④ 緑町第2ぽっと（職員は第4木曜日に参加）

開催日 毎月第2木曜日・第4木曜日 10:00～

構成メンバー 9名 内訳：担い手 5名（男性3名・女性2名）
職員 4名（役場3名・社協1名）

開催回数 24回

2）身近な福祉相談所「ぽっと」研修旅行（担い手対象）

日時 令和7年10月16日（木）～17日（金）

行先 社会福祉法人 大樹町社会福祉協議会

参加者 担い手12名 町1名、社協1名 計14名

内容 大樹町の地域支え合いマップ作成について

3) 身近な福祉相談所「ぽっと」研修会（担い手対象）

①日 時 令和8年3月14日（土）

場 所 津別町役場 健診ホール

講 師 札幌学院大学人文学部人間科学科 大久保薫教授

内 容 「みんなで考えて、みんなのできることを
～「ぽっと」の活動を続けていくために～」

参 加 者 14名（担い手11名 町職員1名 社協職員2名）

②日 時 令和8年2月13日（金）午前10時～正午

場 所 津別町役場 健診ホール

内 容 身近な福祉相談所「ぽっと」研修旅行にて大樹町で学んだ
「地域支え合いマップ」を作成

参 加 者 8名（担い手6名 町職員1名 社協職員2名）

4) 身近な福祉相談所「ぽっと」全体会議

日 時 令和7年5月27日

場 所 津別町役場 1階 健診ホール

内 容 令和6年度各ぽっとの振り返り・評価、令和7年度の各ぽっと
の目標、活動計画の全体共有

参 加 者 19名（役場13名 社協4名

大阪公立大学野村教授、H I T切通調査部長

5) 身近な福祉相談所「ぽっと」勉強会

新規メンバー対象

日 時 令和7年4月28日（金）午後3時～午後4時

場 所 津別町役場 多目的活動室

内 容 身近な福祉相談所「ぽっと」について

参 加 者 保健福祉課職員2名

(2) 中間的就労の場「社協めぐり」

1) 作業経過

月 日	業 務 内 容	備 考
令和7年 5月	ロータリーかけ（大野 権氏）	
5月15日	めぐり打ち合わせ （ボランティア8名、事務局2名）	
5月28日	畑おこし、肥料まき （ボランティア2名）	
5月29日	植え（ポップコーン・黒大豆・さつまいも） 津別小学校2年生活科 じゃがいもの種いも植え （ボランティア9名、事務局1名）	

5月29日	津別小学校1年生生活科 黒大豆種植え (ボランティア2名、事務局1名)	
6月17日	畑おこし 黒大豆移植 黒大豆、ポップコーン (ボランティア2名)	
6月30日	黒大豆の畝の草取り (ボランティア1名)	
7月7日	草取り (ボランティア4名 事務局1名)	
7月10日	草取り 津別小学校2年生草取り (ボランティア6名、事務局1名)	
7月31日	草取り (ボランティア5名、事務局1名)	
8月12日	ポップコーンあみかけ 黒大豆防虫作業 (ボランティア4名)	
8月15日	大根種まき (ボランティア4名、事務局1名)	
9月3日	大根まびき (ボランティア2名)	
9月8日	津別小学校2年生生活科 じゃがいも収穫 (ボランティア4名 事務局1名)	
10月14日	豆かり、大根抜き、さつまいも収穫 (ボランティア6名、事務局1名)	
11月10日	豆落とし 津別小学校1年生生活科「豆おとし」 (ボランティア6名、事務局1名)	
11月12日	黒大豆 トーミかけ (ボランティア8名、事務局1名)	
12月5日	黒大豆豆より (ボランティア5名)	
12月8日	黒大豆豆より (ボランティア7名)	
12月9日	黒大豆豆より (ボランティア4名)	

12月11日	黒大豆豆より (ボランティア3名)	
12月12日	黒大豆豆より (ボランティア4名)	
12月18日	黒大豆豆より (ボランティア4名)	
12月19日	黒大豆豆より (ボランティア2名)	
12月22日	黒大豆豆より (ボランティア5名)	
12月23日	黒大豆豆より (ボランティア4名)	
12月24日	黒大豆豆より (ボランティア4名)	
12月26日	大根掘り出し、大根洗い (ボランティア2名)	
12月29日	切干大根に加工 (ボランティア5名 社協1名)	

- 2) ボランティア実人数 12名 (延べ人数 118名)
 事務局実人数 1名 (延べ人数 13名)
 実人数合計 13名 (延べ人数 131名)

3) 社協あぐりの作業



(3) 福祉教育

1) 津別小学校

○1年生 (20名)

生活科 「味噌づくりのための黒大豆を育てる」

・日 時 令和7年5月29日(木)

場 所 社協あぐりの畑

内 容 黒大豆の豆うえ

参 加 者 ボランティア2名 事務局1名 計3名

・日 時 令和7年11月10日(月)

場 所 中央公民館駐車場

内 容 黒大豆の豆おとし

参 加 者 ボランティア7名 事務局1名 計8名

生活科「日本の昔あそびを教える」ボランティア対応

・日 時 令和8年1月26日(月) 午前10時30分～正午

場 所 津別小学校 プレイルーム

内 容 お手玉、おはじき、ビー玉、あやとり、紙風船、
竹とんぼ、けん玉、ベーゴマ

参 加 者 ボランティア6名 事務局2名 計8名

○2年生 (20名)

生活科「じゃがいもを育てる」ボランティア対応

・日 時 令和7年5月29日(木)

場 所 社協あぐりの畑

内 容 「じゃがいもの種芋植え」

対 応 者 ボランティア9名、事務局1名 計10名

・日 時 令和7年7月10日(木)

場 所 社協あぐりの畑

内 容 「じゃがいも畑の草取り」

対 応 者 ボランティア7名、事務局1名 計8名

・日 時 令和7年9月8日(月)

場 所 社協あぐりの畑

内 容 「じゃがいもの芋ほり」

対 応 者 ボランティア3名、事務局1名 計4名

○3年生 (29名)

総合的な学習の時間 「福祉の現状と取り組み方を理解する」

・日 時 令和7年11月28日(金) 午前9時25分～10時10分

場 所 津別小学校 3年生教室

内 容 「ふくしを知って自分ができることを考えよう」

対 応 者 立花係長

- ・ 日 時 令和 7 年 12 月 5 日（金）
- 場 所 津別町中央公民館 講堂
- 内 容 寿大学の学生と交流
- 対 応 者 立花係長

○ 4 年生（16 名）

総合的な学習の時間 「高齢者との交流」

- ・ 日 時 令和 7 年 12 月 10 日（水）
- 場 所 中央公民館 講堂
- 内 容 豊永第 4 げんきサロンとの交流
- 対 応 者 立花係長

○ 5 年生（30 名）

総合的な学習の時間「体験を通して高齢者や障がい者の配慮やお手伝いを学ぶ」

- ・ 日 時 令和 7 年 12 月 1 日（月）
- 場 所 津別小学校 体育館
- 内 容 高齢者疑似体験
- 対 応 者 装着・見守りボランティア 4 名 立花係長
- ・ 日 時 令和 7 年 12 月 11 日（木）
- 場 所 津別小学校 体育館 1 階廊下
- 内 容 車いす体験
認知症について考えよう！
- 対 応 者 門脇事務局次長・立花係長

（4）講師・周知活動など

1）講師対応

- ① 日 時 令和 7 年 7 月 2 日（水）
- 場 所 札幌市 かでる 2・7 520 研修室
- 依 頼 先 北海道社会福祉協議会
- 内 容 第 2 分科会実践報告
「住民とともに考える支え合いの地域づくり
～重層的支援体制整備事業を活用して～」
- ② 日 時 令和 7 年 10 月 7 日（火）午後 1 時 30 分～午後 4 時
- 場 所 津別町役場 多目的活動室（オンライン）
- 依 頼 先 大阪府社会福祉協議会 大阪人材支援センター
- 内 容 実践報告「社会的孤立を予防するために」
グループワークのコメント
- 対 応 者 立花係長

※事前打ち合わせ

①日 時 令和7年9月4日 午前10時～10時30分

場 所 津別町役場 多目的活動室（オンライン）

内 容 当日の流れの打ち合わせ

対応者 立花係長

②日 時 令和7年9月16日 午後6時～午後6時30分

場 所 津別町役場 ボランティア室

内 容 講義資料、グループワークの進め方

対応者 立花係長

（5）視察・インタビュー調査対応

日 時 ①令和7年7月12日（土）午前10時～午後4時

②令和7年11月27日（火）午後2時～午後2時30分

依 頼 先 関東学院大学社会学部現代社会学科3年小沼ゼミ

内 容 ①津別町社協の事業などについてのインタビュー調査

②調査結果報告会

対 応 者 山田会長、立花係長

（6）研究委員対応

任 期 令和7年6月～令和8年3月

依 頼 者 厚生労働省社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室
（特定非営利活動法人

全国コミュニティライフサポートセンター受託

テ ー マ 令和7年度厚生労働省社会福祉推進事業

「地域住民主体の地域づくりに係る背景と福祉合成の連携体制の
構築過程に係る調査研究」

開 催 日 ① 令和7年6月24日（火）午後2時～午後4時

② 令和7年8月5日（火）午後2時30分～午後5時45分

③ 令和7年10月20日（月）午後2時30分～午後5時45分

④ 令和7年12月3日（水）午後3時～午後5時45分

⑤ 令和8年2月24日（火）午後2時～午後4時50分

場 所 ①⑤ オンライン（津別町役場 多目的活動室）

②③④ イオンコンパス東京八重洲会議室

対 応 者 立花係長

(7) 職員研修

- ①日 時 令和7年9月25日(木) 午後3時～午後5時
令和7年10月22日(水) 午後3時～午後5時
用務地 社会福祉協議会 執務室
内 容 北海道地域福祉学会2025年度定例研究会
「包括的な支援体制の多様なあり方と支援の視点
北海道内市町村における効果的な地域福祉の推進を目指して」
参加者 小野事務局長・立花係長
- ②日 時 令和7年12月18日(木)
用務地 札幌市 TKP 札幌ビジネスセンター赤レンガホール
内 容 令和7年度重層的支援体制構築に向けた後方支援事業
「包括的な支援体制の整備の推進にむけた市町村間情報交換会」
参加者 立花係長

令和7年度 津別町ふれあい・いきいきサロン事業 実績報告書

1 地区サロンの開催状況

サ ロ ン 名	開催回数	参加延人員	備 考
高台町ほのぼのサロン	12 回	85 名	
柏町いきいきサロン	10 回	129 名	バス利用
相生あいあいサロン	10 回	57 名	津別 HP リハビリ指導
本岐地区いきいきサロン	12 回	151 名	バス利用
豊永第4げんきサロン	12 回	276 名	バス利用、かるっちゃ依頼
東達美いきいきサロン	9 回	74 名	
東町ふれあいサロン	11 回	164 名	
旭町第3おさんぽ・ぽっと	12 回	163 名	バス利用
活汲おげんきサロン	12 回	188 名	かるっちゃ依頼
共和にこにこサロン	12 回	183 名	バス利用
豊永第3こいこいサロン	12 回	146 名	
幸町ふれあいサロン	10 回	159 人	
計 12 地区	134 回	1,775 人	

2 地区サロン立上げ支援の状況

・具体的な相談、支援状況はないが、共和第3自治会において立ち上げ希望の声が出ている。役員会や総会など、必要に応じて職員派遣できることを伝えている。

3 運動サロンの開催状況

①共和はつらつ健康サロン開催状況

月	開催回数	参加延人数	備 考
4 月	2 回	17 人	高間運動指導士、スタッフ
5 月	2 回	13 人	高間運動指導士、スタッフ
6 月	2 回	15 人	高間運動指導士、スタッフ
7 月	2 回	17 人	高間運動指導士、スタッフ
8 月	1 回	10 人	スタッフ
9 月	2 回	14 人	高間運動指導士、スタッフ
10 月	2 回	18 人	体力測定、高間運動指導士、 スタッフ（体力測定日：11 人）

11月	2回	11人	高間運動指導士、スタッフ
12月	2回	18人	高間運動指導士、スタッフ
1月	1回	6人	スタッフ
2月	2回	13人	高間運動指導士、スタッフ
3月	2回	13人	体力測定、日赤看護大学:山本教授、高間運動指導士、スタッフ（体力測定日：8人）
計	22回	165人	

②西町さわやか健康サロン開催状況

月	開催回数	参加延人数	備 考
4月	2回	24人	高間運動指導士、スタッフ
5月	2回	19人	高間運動指導士、スタッフ
6月	2回	22人	高間運動指導士、スタッフ
7月	1回	5人	高間運動指導士、スタッフ、7/22は高温のため中止
8月	1回	4人	スタッフ
9月	2回	13人	高間運動指導士、スタッフ
10月	2回	17人	体力測定、高間運動指導士、スタッフ（体力測定日：6人）
11月	2回	14人	高間運動指導士、スタッフ
12月	1回	8人	高間運動指導士、スタッフ
1月	1回	6人	スタッフ
2月	2回	19人	高間運動指導士、スタッフ
3月	2回	21人	体力測定、日赤看護大学:山本教授、高間運動指導士、スタッフ（体力測定日：11人）
計	20回	172人	

③参加記念マフラータオルの製作

参加意欲の向上、新規参加者確保のためマフラータオルを製作し参加者へ配布する。

4 サロン担当者会議の開催

■日時・場所 令和7年4月22日（火）10時00分から10時55分

津別町役場 健診ホール

■内 容 ①各サロンの活動状況と課題

②助成金交付申請等について

③事務連絡（講師等派遣、福祉バス使用、レク用品貸し出し、サロン交流会開催について、感染対策について）

■出席者 サロン運営者

高台町 1 名・柏町 2 名・本岐 1 名・相生 1 名・豊永第四 2 名・東達美 1 名、
東町 1 名・旭町第三 2 名・活汲 3 名・共和第二 3 名・豊永第三 3 名、幸町 1
名・共和運動 1 名（豊永第三と同一）・西町運動 0 名
地域包括支援センター 1 名・社会福祉協議会 2 名
合計 25 人

5 サロン交流会の開催

■日時・場所 令和 7 年 10 月 7 日（火）10 時 30 分から 12 時 津別町中央公民館

■内 容 ①「かるっちゃ体操STEP」

指導 四條主事、サロンスタッフ 藤岡氏・井村氏

②「ピアノ演奏と交流」

講師 西尾 朋子 氏（フォレストエコーズ西尾朋子ピアノ教室）

■参加者 高台町 4 名・柏町 7 名・本岐 3 名・豊永第四 15 名・東達美 2 名、東町 2
名・旭町三 8 名・活汲 15 名・共和第二 4 名・豊永第三 8 名、相生 2 名、
幸町 2 名、共和はつらつ 4 名・西町さわやか 0 名

日赤奉仕団 9 名

関係機関含めて合計 93 名

おみやげ（パン） 手をつなぐ育成会クレシェより購入

「サロン交流会」は町内サロン参加者の交流とサロン内容の充実を目的としており、今年度も各サロンからの参加をいただいた。

今年度は昼食の提供からパンのおみやげに変更し配布する。手をつなぐ育成会クレシェにご協力いただき好評であった。

令和7年度津別町介護予防いきいきポイント事業 事業実績報告書

1 ボランティア登録者の事前研修、並びにフォローアップ研修の開催

① 登録者事前研修

日 時 令和8年1月14日（水）午後1時30分～15時15分

場 所 津別町役場 健診ホール

内 容 講義①「ボランティア活動とは」

講師 四條 玲香 主事（社会福祉法人津別町社会福祉協議会）

講義②「対象者の理解とコミュニケーション」

講師 丸尾 美佐 主幹（津別町保健福祉課）

事業説明（津別町社会福祉協議会）

参加者 3名（新規登録者3名）

② 登録者事前研修及びフォローアップ研修

本年度未開催

2 介護予防いきいきポイント登録者の管理

【 令和7年度末登録者数 】

（年齢は登録時 単位：人）

年 齢	男	女	計
65歳以上	50	77	127
64歳～40歳	6	13	19
40歳未満	0	1	1
合 計	56	91	147

■令和7年度換券者の活動内容

活 動 内 容	人	ポイント	活 動 内 容	人 数	ポイント
地域サロン	44	1,027	デイサービスセンター	8	22
給食サービス	18	812	グループホーム	0	0
社協事業（集い他）	26	646	ケアハウス	1	10

サークルぴゅあ	5	32	小規模多機能ホーム	0	0
絵手紙	8	266	脳活サロン	5	79
芸能発表	4	52	オレンジカフェ	9	164
特養いちいの園	0	0	合 計	128	3,110

3 介護予防いきいきポイント手帳の作成と登録者への送付

令和7年度で1回実施した登録者事前研修終了後、新規登録者3人（男3人）の登録を行い、介護予防いきいきポイント手帳を送付した。

4 指定施設の取りまとめとボランティアの提供支援

（1）指定施設 （町内8事業所）

- ・社会福祉法人恵和福祉会 特別養護老人ホームいちいの園
- ・社会福祉法人恵和福祉会 津別町デイサービスセンター
- ・社会福祉法人恵和福祉会 津別町居宅介護支援事業所
- ・社会福祉法人津別福祉会 ケアハウスつべつ
- ・グループホームほのぼの
- ・小規模多機能ホーム 夢ふうせんのか
- ・津別町地域包括支援センター
- ・社会福祉法人 津別町社会福祉協議会

5 評価ポイントの管理と換券手続き支援

（1）令和7年度換券者数と換券金額

（単位：人・円）

	男		女		合計	
	人数	換券金額	人数	換券金額	人数	換券金額
町 財 源	28	131,000	41	180,000	69	311,000
社協財源	—	—	—	—	—	—
合 計	28	131,000	41	180,000	69	311,000

※社協財源該当者は、40歳未満登録者の活動分となる。

《 参考 令和6年度換券者数と換券金額 》

(単位：人・円)

	男		女		合計	
	人数	換券金額	人数	換券金額	人数	換券金額
町 財 源	26	86,000	44	125,500	70	211,500
社協財源	—	—	—	—	—	—
合 計	26	86,000	44	125,500	70	211,500

現在もサロン事業や社協事業、介護予防事業等においてボランティアが活躍しています。引き続いた感染症対策のなか、介護施設等への訪問には制限があるなかで取り組んでいる現状があります。

また、チームオレンジの発足や、脳活サロンなど、新規の活動者も増えており、ボランティア募集を引き続き行っています。

ボランティア不足の活動もありますが、活動者のモチベーションが保てるようサポートしていくことも必要です。

今後も、ボランティアの発掘も含めて活動を継続していきます。

令和7年度 津別町あんしん生活サポートセンター事業実績報告

(1) 成年後見制度等に関する相談及び利用支援

1) 相談内容（実人数の件数）

相 談 内 容	件 数
成年後見（申立て含む）	5
福祉資金貸付	7
金銭管理	2
虐待事案	0
生活不安	0
その他	3
合 計	17

2) 成年後見等受任状況

①個人受任

受 任 月	被後見人等	後見類型	市民後見人	生活状況
平成 25 年 5 月	81 歳女性	後 見	中川孝敏・山内浩子	在 宅
令和元年 5 月	85 歳男性	保 佐	相馬 由紀子 (津別社協との複数後見)	施 設
令和 2 年 10 月	76 歳男性	保 佐	中田 千津子 (津別社協との複数後見)	施 設
令和 4 年 1 月	85 歳女性	後 見	石井満・山田はる江	施 設
令和 6 年 2 月	75 歳男性	保 佐	小野 敏明 (津別社協との複数後見)	在宅⇒死去

②法人後見受任

受 任 月	被後見人等	後見類型	後見支援員	生活状況
平成 28 年 2 月	95 歳女性	後 見	清水 恵・弁護士	施 設
平成 29 年 4 月	90 歳女性	後 見	(未委嘱)	施設⇒死去
平成 31 年 1 月	93 歳男性	後 見	土屋昇・土屋けい子	施設⇒入院
令和元年 5 月	85 歳男性	保 佐	市民後見人共同受任	施 設
令和 2 年 10 月	76 歳男性	保 佐	市民後見人共同受任	施 設
令和 3 年 1 月	81 歳男性	保 佐	(未委嘱)	在宅⇒死去
令和 5 年 5 月	97 歳女性	保 佐	(未委嘱)・弁護士	施設⇒死去
令和 5 年 12 月	80 歳男性	保 佐	(未委嘱)	在 宅
令和 6 年 2 月	75 歳男性	保 佐	市民後見人共同受任	在宅⇒死去
令和 7 年 5 月	90 歳男性	後 見	(未委嘱)	入院⇒死去

3) 申立支援状況

申し立て時期	被後見人等	後見類型	後見人等	生活状況
令和7年12月	75歳男性	保 佐	津別町社協	在 宅

4) 専門家アドバイザー利用について

なし

(2) 成年後見制度等に関する広報及び啓発

1) 視察対応等

日 時 令和8年3月1日(日)
場 所 津別町中央公民館 講堂
依 頼 先 鶴ヶ島市・鶴ヶ島市社会福祉協議会
内 容 あんしん生活サポートセンターについて
対 応 者 立花係長

2) セミナー等

日 時 令和8年3月26日(木)
場 所 津別町役場 健診ホール
講 師 北見公証役場 公証人 高橋誠氏
内 容 「大切な人に残そう 知っていたい 遺言のはなし」
参 加 者 町民16人 町職員1名 事務局3名 合計20名

3) 講師対応等

- ① 日 時 令和7年10月3日(金) 午後6時～午後7時30分
場 所 名寄市総合福祉センター1階 多目的ホール
依 頼 者 名寄市社会福祉協議会
内 容 成年後見等実務者連携研修会
「ファシリテーターとコメント」
対 応 者 立花係長
- ② 日 時 令和7年10月4日(土) 午前10時30分～正午
場 所 名寄市総合福祉センター1階 多目的ホール
依 頼 者 名寄市社会福祉協議会
内 容 権利擁護講演会
「つべつ意思決定フォロワー事業について」
対 応 者 立花係長
- ③ 日 時 令和7年10月20日(月) 午前10時～午前11時
場 所 旭昇園
依 頼 者 旭昇園あけぼのクラブ
内 容 成年後見制度について
対 応 者 門脇事務局次長

- ④ 日 時 令和7年7月22日(火) 午後2時～午後4時
 場 所 津別町役場 多目的活動室 オンライン
 依 頼 者 一般社団法人日本意思決定支援ネットワーク
 内 容 「意思決定支援フォロワーシステムの導入を始めた地域の話を聞こう」
 対 応 者 立花係長
- ⑤ 日 時 令和7年11月13日(木) 午前9時30分～午前11時
 場 所 津別町役場 多目的活動室 オンライン
 依 頼 者 一般社団法人日本意思決定支援ネットワーク
 内 容 「津別町におけるフォロワーシステムの導入の実践と工夫についての座談会」
 対 応 者 山田会長・立花係長
- ⑥ 研修ワーキンググループ委員
 意思決定支援フォロワーシステムを活用した高齢者・障害者の意思決定支援モデル事業研修ワーキンググループ委員
 日時・場所
 ① 令和7年 9月 2日(火) 午前9時～午前11時 オンライン
 ② 令和7年10月 1日(水) 午後5時～午後7時 オンライン
 ③ 令和7年11月11日(火) 午後1時～午後3時 オンライン
 ④ 令和8年 1月 8日(木) 午後1時～1月9日(金) 午後3時
 日本意思決定支援ネットワーク名古屋スタジオ
 依頼先 一般社団法人 日本意思決定支援ネットワーク
 対応者 立花係長

4) 広報及び啓発について

社協だよりに「ご相談下さい」という内容で掲載

(3) 市民後見人の養成及び実務等研修の実施

1) 津別町市民後見人フォローアップ研修

- ① 日 時 令和7年9月24日(金) 午前9時30分～午前11時30分
 場 所 津別町役場 健診ホール
 内 容 講義・演習
 「本人の意思決定を支援するために
 ～本人を知り本人の意思決定支援をみんなで考えよう～」
 講 師 日本司法支援センター(法テラス)本部
 常勤弁護士総合企画部付第一事業部付・総務部付
 常勤弁護士 水島 俊彦氏
 参 加 者 13名(養成研修修了者6名 事務局4名 その他3名)

②日 時 令和8年2月7日(土)

場 所 津別町役場 1階 ボランティア室

内 容 「第4回 意思決定支援実践シンポジウム

支援付き意思決定が保障された未来像とは？

参加者 16名(養成研修修了者11名 事務局3名 その他2名)

2) 令和7年度 オホーツク管内市民後見人活動交流会

日 時 令和7年11月6日(木) 午前10時30分～午後3時

場 所 紋別市 紋別市民会館 小ホール

テ ー マ 「寄り添うって何だろう？」

受任報告 北見市、紋別市、網走市、津別町の市民後見人活動者

津別町は、市民後見人の小野敏明氏から報告

グループワーク 湧別町の実事例を使い、グループワークを行った

参加者 32名(うち津別町参加者7名)

(4) 市民後見人候補者の登録、受任調整及び市民後見人への活動支援

1) 審査検討会

第1回 令和7年 4月15日(火) オンライン

第2回 令和7年 5月20日(木) オンライン

第3回 令和7年 6月17日(火) オンライン

第4回 令和7年 7月15日(火) オンライン

第5回 令和7年 8月19日(火) 都合により欠席

第6回 令和7年10月21日(火) オンライン

第7回 令和7年11月18日(火) オンライン

第8回 令和7年12月16日(火) オンライン

第9回 令和8年 1月20日(火) オンライン

第10回 令和8年2月17日(火) オンライン

2) 受任者調整(マッチング)依頼

2件 90歳男性 法人後見受任

75歳男性 法人後見受任

3) 市民後見人の適正な活動のための支援

令和7年4月から定期報告の様式が変更になったため、作成支援や

被後見人等への支援方法などの支援を実施

(5) 成年後見制度等に関する関係機関等との連携

1) オホーツク管内権利擁護支援センター情報交換会

第1回 令和7年5月 8日(木) 大空町社協

第2回 令和7年6月10日(木) オンライン

第3回 令和7年7月23日(水) オンライン

第4回 令和7年9月 2日(火) 津別町役場 健診ホール

第5回 令和7年10月6日(月) オンライン

第6回 令和7年10月22日(水) オンライン

第7回 令和7年12月11日(木) オンライン

第8回 令和8年2月5日(水) オンライン

小野局長・立花係長・四條主事(第5回から出席)

2) 津別町高齢者虐待防止ネットワーク会議

・令和8年2月3日(火) 津別町役場 健診ホール

小野事務局長

3) 家事関係機関との連絡協議会

・令和8年2月9日(月) 午後1時～午後4時20分

津別町役場 ボランティア室 オンライン

小野事務局長・立花係長

4) 法人後見実施機関研修・連絡会議

・令和8年2月26日(木)

津別町役場 ボランティア室 オンライン

立花係長・四條主事

5) 実践的意思決定支援ファシリテーション研修会

日 時 令和8年3月13日(金) 午前9時～正午

場 所 津別町役場 健診ホール

講 師 日本意思決定支援ネットワーク理事

森地徹氏 小林博氏

日本意思決定支援ネットワークから、津別町での研修会開催依頼があり、
近隣市町村の事業所等に周知し開催した。

(6) その他センターの運営に関し必要な事項

1) あんしん生活サポートセンター運営協議会

・令和7年12月9日(火)

協議案件

・令和7年度あんしん生活サポートセンター事業報告について

・令和8年度あんしん生活サポートセンター事業計画について

門脇事務局次長、立花係長

2) 日常生活自立支援事業契約状況

契 約 月	利用者	自立生活専門員	生活支援員
平成30年1月	71歳男性	門脇 隆司	四條 玲香

3) 津別町ほっと暮らしサポート事業契約状況

契 約 月	利 用 者	支援内容	移行の制度
令和元年6月	42歳男性	金銭管理	未定
令和2年2月	62歳男性	金銭管理	未定
令和4年1月	82歳女性	金銭管理	成年後見申立準備中
令和4年9月	83歳女性	金銭管理	死去
令和5年8月	39歳男性	金銭管理	未定
令和7年11月	53歳男性	金銭管理	未定

4) 職員研修

①全国権利擁護支援ネットワーク北海道ブロック研修会

令和8年3月17日（木） オンライン

小野事務局長

②成年後見制度利用促進体制整備研修

令和7年度後見人等への意思決定支援研修

令和8年1月21日（水） オンライン

山田会長、立花係長

令和7年度津別町認知症地域支援・ケア向上事業 活動実績報告書

1. 認知症地域支援推進員の配置

(主担当)

氏 名 山 口 里 史

所 属 社会福祉法人津別町社会福祉協議会 総務・在宅福祉係主事

資 格 社会福祉士

(副担当)

氏 名 門 脇 隆 司

所 属 社会福祉法人津別町社会福祉協議会 事務局次長

資 格 社会福祉士

2. 活動実績

- (1) 認知症の人に対し、状態に応じた適切なサービスが提供されるような関係機関との連携を図るための取り組み
- (2) 当該推進員を中心に地域の実情に応じて、地域における認知症の人とその家族を支援する相談支援や相談体制を構築する。

① 認知症サポーター養成講座の開催

1. ひとり歩き高齢者おかえり模擬訓練の中で開催

令和7年10月25日(土) 9:30 ~ 12:00 講師 社協 山口主事

場 所 津別町町民会館 1階 大会議室 (全町民対象) 参加者 10名

② 認知症コーナーの設置や先進事例の普及

1. 認知症コーナーの設置 ~ ① 令和7年9月9日から9月26日までの2週間

場 所: 津別町図書館カウンター前

② 令和7年9月27日の1日間

場 所: 津別町中央公民館 ロビー

※つべつオレンジフェスティバル内

③ 令和7年9月29日から10月31日までの1ヶ月間

場 所: 役場内社会福祉協議会カウンター前

図書館より認知症に関連する本を借りて展示

(3) その他認知症の人やその家族を支援する取組み。

① 認知症カフェの開催

令和7年 4月30日(水) 10:30 ~ 12:30 津別町内ドライブ
津別町幸町地区コミュニティ施設

参加者 13名

令和7年 6月19日(木) 14:00 ~ 16:00 役場 健診ホール

参加者 8名

令和7年 10月15日(木) 14:00 ~ 16:00 役場 健診ホール

参加者 8名

令和7年 12月10日(水) 14:00 ~ 16:00 役場 健診ホール

参加者 14名

令和8年 2月18日(水) 14:00 ~ 16:00 役場 健診ホール

参加者 13名

② 家族介護者のための茶話会

令和7年 8月27日(木) 13:30 ~ 15:00 役場 多目的活動室

参加者 0名

令和8年 2月25日(水) 10:00 ~ 11:10 役場 健診ホール

参加者 4名

③ ひとり歩き高齢者おかえり模擬訓練の開催

令和7年 10月25日(土) 9:30 ~ 12:00 津別町町民会館 1階 大会議室

参加者 10名

スタッフ 12名 (オレンジカフェボランティア、居宅介護支援事業所、
地域包括支援センター、社会福祉協議会)

内 容 認知症サポーター養成講座「認知症を学び、地域で支えよう」
寸劇「トミおばあちゃんの探し物 2025」
メール配信システムの説明
徘徊高齢者への声かけ訓練

④ 認知症に関する講演の開催

令和7年 9月27日(土) 10:00 ~ 12:00 津別町中央公民会 講堂

参加者 77名 (職員、ボランティア、認知症の人にやさしいお店登録事業者含む)

内 容 基調講演「認知症になっても笑顔で暮らせるまちづくり」
実践報告「私たちの活動」

⑤ チームオレンジの結成

令和8年 2月18日 結成

チーム名 「つべつのわ」

チーム人数 8名

(4) 厚生労働省が示す認知症地域支援推進員研修会を受講し、資質の向上に努める。

① 認知症地域支援推進員研修の受講

現任者研修 令和7年8月25日(月) 9:30 ~ 16:30

令和7年8月26日(金) 9:30 ~ 16:00

オンライン方式で参加 出席者 山口主事

② 令和7年度認知症地域支援推進員リーダー会議

令和7年11月10日(月) 10:00 ~ 16:30

札幌市中央区北2条西7丁目かでの2.7 出席者 山口主事

③ 令和7年度チームオレンジコーディネーター研修(現任)

令和7年11月21日(金) 10:00 ~ 16:30

札幌市中央区北2条西7丁目かでの2.7 出席者 山口主事

認知症の人にやさしいお店登録事業

町の方で実施要綱が整備され、令和元年月より事業開始

登録店は、14店舗(令和8年3月31日時点)

	事業所名	登録月	備考
1	加藤信陽堂薬局	令和元年10月	
2	増田呉服店	令和元年10月	閉店
3	津別郵便局	令和元年10月	
4	さんさん館カフェ	令和元年10月	
5	丸玉木材(株)津別病院	令和元年12月	
6	カフェJIMBA	令和元年12月	研修者不在
7	北見信用金庫津別支店	令和2年1月	
8	本岐郵便局	令和2年3月	
9	JAつべつ	令和2年7月	
10	カフェ&ランチ ちゃのま	令和2年8月	
11	(株)津別総合管理センター	令和2年8月	
12	北見相生郵便局	令和2年10月	
13	道東テレビ	令和2年10月	
14	網走信用金庫津別支店	令和2年10月	
15	オホーツク珈琲舎幾島珈琲研究所	令和3年3月	
16	(株)相生振興公社 道の駅あいおい	令和6年2月	

令和7年度 津別町生活支援体制整備事業 実績報告書

1、生活支援コーディネート等に関する業務

(1) 地域資源の発掘、サロン活動等既存の通いの場への活動支援

- ・地域サロン 12 か所 ・運動サロン 2 か所 ・老人クラブ 12 クラブ
- ・サークルぴゅあ例会（年3回）
- ・自主団体（ボランティア等）活動への参加
（おりづる会、絵手紙サークル、津別町赤十字奉仕団、音楽活動サークル、
さつき会、旭町縫い物の会）

- ① 地域サロンや老人クラブ・自治会出前講座にて、津別町の支え合いの取り組みについて紹介する。
- ② 社協だより等広報誌を活用し、地域の取り組みについて情報発信を行う。
- ③ 支え合いの担い手確保のため、ボランティア養成研修、ボランティア募集を行う。
- ④ コロナ禍、自宅でできる生きがいづくりを発掘するため、作品展を開催する。
町民へ作品を募集し、R3.12より展示（令和7年度 6作品展示）。

(2) 関係機関との情報共有、会議等への出席

- ① 介護サービス事業者連絡会議（四條主事・門脇次長出席）
- ② 在宅医療・介護連携推進会議（四條主事・門脇次長出席）
- ③ まちづくりセンター運営協議会（門脇次長出席）
- ④ セタまつり実行委員会（門脇次長出席、山口主事）
- ⑤ ア이스キャンドルまつり実行委員会（門脇次長出席、山口主事）

(3) 生活支援サポートセンター事業の実施

生活支援サポートセンター実績報告書へ記載

(4) おつきさま事業 ～おっ！ つべつで きんかい さがして まちづくり～ の実施

※安心して暮らし続けられるまちを目指し、住民同士の支え合い活動を継続・発展させていくため、地域の強み、活動、資源を発掘していく事業

①支え合いのまちづくり学習会

令和8年3月17日（火）9：30～11：30 津別町役場 健診ホール

参加者 16名

- ・基調講演「助けて」と言える、「いいよ」と返せるまちへ
～あなたのお互いさまの心が、誰かの希望になる～
- 講師 澤出 桃姫子 氏（日常生活支援あつべつ・たすけ愛ふくろう）

（5）その他地域との連携に関する活動

①つべつ福祉体験セミナー実行委員 門脇次長対応

- ・実行委員会出席
- ・体験セミナー対応（小野事務局長、門脇次長）

令和7年8月6日（水）～8日（金）

②津別中学校職場体験受け入れ

令和7年4月21日（月）打ち合わせ 小野局長、立花係長 対応

※本年度は希望学生なしのため、受け入れは未実施

③津別町高校生対象企業&職種説明会 門脇次長対応

令和7年5月30日（金）9：55～12：30

津別高校体育館

2、生活支援体制整備協議体に関わる関係者間とのネットワークの構築

（1）津別町生活支援体制整備推進協議体会議の開催

①協議体会議

令和8年3月27日（金）10：00～11：20 役場 健診ホール

構成員 10名出席

- ・支え合いの取り組みについて実施報告
- ・意見交換
- ・令和8年度協議体委員推薦について

②協議体構成員

- ・特別養護老人ホームいちいの園 ・津別町居宅介護支援事業所
- ・津別町デイサービスセンター ・グループホームほのぼの
- ・ケアハウスつべつ ・夢ふうせんのか ・ほんき ・株式会社びーと
- ・津別町手をつなぐ育成会 ・津別病院 ・加藤信陽堂
- ・津別町地域包括支援センター ・津別町保健福祉課 ・津別町社会福祉協議会

3、生活支援コーディネーターの配置

主担当 津別町社会福祉協議会 地域福祉係 主事 四條 玲香（社会福祉士）
副担当 津別町社会福祉協議会 事務局次長 門脇 隆司（社会福祉士）

4、生活支援コーディネーター研修等への参加

（1）研修日程と内容

①令和7年10月14日（火）10：00～14：35

オンライン研修

・デジタルを活用した高齢者の介護予防・生活支援に係る民間事業者の取組に関する説明会 四條主事出席

②令和7年11月5日（水）10：30～15：00

湧別町社会福祉協議会

・令和7年度オホーツク管内生活支援コーディネーター情報交換会
四條主事出席

③令和7年11月12日（水）13：00～16：45

札幌市 北海道第二水産ビル

・生活支援・介護予防充実強化研修 門脇次長出席

④令和8年2月4日（水）

置戸町立図書館

・令和7年度第4回地域包括支援センター等意見交換会 四條主事出席

令和7年度 津別町生活支援サポートセンター事業 実績報告書

1、生活支援サポーター研修の開催

(1) 生活支援サポーターフォローアップ研修

本年度未開催

2、生活支援サポーター登録者の管理

(1) 生活支援サポーター 登録者 67名（延べ登録者88名）※別紙名簿のとおり

平均年齢 74歳

年齢構成

80代	70代	60代	50代	40代
12人	43人	9人	1人	2人

(2) サポーター登録証、ポイント手帳の配布

養成研修を修了し、登録したサポーター全員に対し登録証と手帳の配布を行っている。

3、サポート事業利用者の管理

(1) 利用登録者数 20名（延べ登録者54名）

令7年度 実利用者 25名

(2) 利用実績

	実利用人数	延利用人数	活動時間(分)	延べ活動 サポーター数
4月	1	3	90	3
5月	1	1	60	2
6月	3	4	180	7
7月	2	4	120	5
8月	2	3	90	5
9月	3	5	150	7
10月	4	5	180	8
11月	1	2	60	4
12月	2	4	120	6
1月	2	5	150	7
2月	2	4	120	6
3月	2	3	90	5
計	25	43	1,410	65

(3) 活動内容

- ・ごみ出し
- ・資源ごみ整理
- ・窓ふき
- ・風呂カビ取り
- ・お話し相手

(4) チケット利用実績

- ・47枚(×100円) = 4,700円

4、利用チケットの販売

(1) 生活支援サポートチケット

- ・1セット: 30分100円×5枚つづり(500円)

(2) 販売実績

- ・7セット(×500円) = 3,500円

5、サポーターと利用者のマッチング、活動支援

臨時職員

- ・利用希望者との面談を行い支援内容の確認
- ・利用者からの要望・相談対応
- ・サポーターとの連絡調整
- ・サポーターからの相談対応

6、ポイント管理と換券手続き

(1) ポイント商品券交換申請者 5名

(2) 換券額 5,500円

令和7年度 参加支援事業実績報告

(1) 生活困窮者（ひきこもり者等）を対象にした「居場所」の運営

1) 開催日時

- ・開催日 月2回（生活保護費支給日・第3火曜日）
- ・利用者 定期3名 不定期1名
- ・開催時間 午前10時から正午

2) スタッフ

- ・支援員（元町保健師、ヘルパー資格者など）3名（シフトで2名勤務体制）
- ・社会福祉協議会 相談支援包括化推進員

3) 居場所開所日と参加状況

開所日	当事者	支援員	関係者	合計	作業内容
4月 2日	2	3	0	5	切干大根の袋作成、袋づめ
4月15日	1	3	1	5	絵手紙色塗り
5月 1日	1	3	0	4	絵手紙色塗り、再生封筒作り
5月20日	1	3	0	4	ポップコーンむき
5月30日	1	2	0	3	絵手紙の色塗り
6月17日	2	3	0	5	ドライブツアー（美幌峠）
7月 1日	1	3	0	4	絵手紙色塗り
7月15日	0	3	0	3	アンケート発送準備
8月 1日	1	3	0	4	アンケート発送準備
8月19日	1	1	0	2	絵手紙色塗り
9月 1日	3	3	0	6	再生封筒づくり
9月16日	2	2	0	4	絵手紙色塗り・再生封筒作り
10月 1日	1	2	0	3	ガチャガチャのポップコーン詰め
10月21日	2	2	0	4	絵手紙色塗り
10月31日	2	2	0	4	再生袋づくり
11月18日	1 2	2 1	0 0	6	ドライブツアー（北見） 再生袋づくり
12月 1日	2	3	0	5	黒大豆選別
12月16日	1	3	0	4	黒大豆袋詰め
12月25日	1	3	0	4	絵手紙色塗り
1月20日	1	3	0	4	絵手紙色塗り
1月30日	1	3	0	4	切干大根袋詰め
2月17日	1	3	0	4	絵手紙色塗り
2月27日	1	3	0	4	切干大根袋づめ
3月17日	1	3	0	4	絵手紙色塗り
計	33	65	1	99	

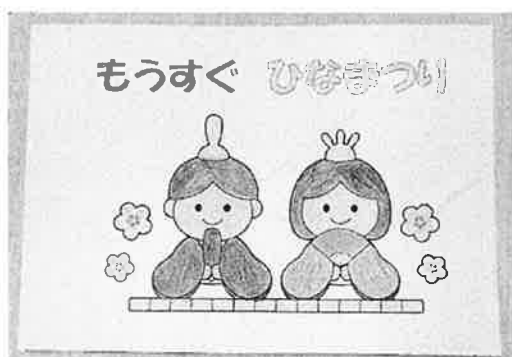
作業やドライブツアーを通して、得意なこと、好きなこと、苦手なこと、少しの手助けで進めることができることなどを把握し、支援員と共有、作業内容や、説明の仕方など、個人個人に対応できるようにした。

4) 作業内容

- ・ 社協あぐりの収穫作物の袋づめ作業など



- ・ 絵手紙の色ぬり
旭町第3自治会の訪問活動時に配布



5) ドライブツアー実施

町外への外出や余暇活動など目的にドライブツアーを実施。

第1回 日 時 令和7年6月17日(火)

行 先 美幌峠

喫茶えくぼ(昼食)

シティ美幌(買い物)

参加者 利用者2名 支援員2名 職員1名 計5名



第2回 日 時 令和7年11月18日(火)
行 先 北見ハッカ記念館
イオン北見(昼食・買い物)
利用者1名 支援員1名 職員1名 計3名



6) ひきこもり家族学習会

日 時 令和8年3月12日(木) 午後1時30分～午後3時
場 所 津別町役場 ボランティア室
参加者 なし
費 用 こころのリカバリーセンターの職員(北海道からの委託を受けている事業のため謝金、旅費等なし)に講話をしてもらうことになっていたので、費用負担はなし。また当日悪天候のため飛行機が欠航となり、オンラインとなった。

(2) 中間的就労の場「社協めぐり」

1) 津別小学校

○1年生(20名)

生活科 「味噌づくりのための黒大豆を育てる」

① 日 時 令和7年5月29日(木)

場 所 社協めぐりの畑

内 容 黒大豆の豆うえ

参 加 者 ボランティア2名 事務局1名 計3名

② 日 時 令和7年11月10日(月)

場 所 中央公民館駐車場

内 容 黒大豆の豆おとし

参 加 者 ボランティア7名 事務局1名 計8名

○2年生(20名)

生活科 「じゃがいもを育てる」ボランティア対応

① 日 時 令和7年5月29日(木)

場 所 社協めぐりの畑

内 容 「じゃがいもの種芋植え」

対 応 者 ボランティア9名、事務局1名 計10名

② 日 時 令和7年7月10日(木)

場 所 社協めぐりの畑

内 容 「じゃがいも畑の草取り」
対 応 者 ボランティア 7 名、事務局 1 名 計 8 名
③ 日 時 令和 7 年 9 月 8 日（月）
場 所 社協あぐりの畑
内 容 「じゃがいもの芋ほり」
対 応 者 ボランティア 3 名、事務局 1 名 計 4 名
じゃがいもは給食センターで給食に使用
※経費については、前年度の残りを使ったためなし。

（３）関係機関等との打ち合わせ、視察対応など

1) 情報交換など

なし

2) 視察対応

日 時 令和 7 年 11 月 26 日（水）
場 所 津別町役場 大会議室
依 頼 先 鷹栖町・鷹栖町社会福祉協議会・富良野市社会福祉協議会
内 容 「ひきこもりの実態調査の実施等について」
「ひきこもり者等社会的孤立者への支援について」
対 応 者 小野事務局長、門脇事務局次長、立花係長

（４）職員研修

日 時 令和 8 年 1 月 27 日（火）午後 2 時～午後 2 時 40 分
用 務 地 津別町役場 社協執務室（オンライン）
内 容 令和 7 年度第 5 回どうねっと情報交換会
就労についての情報交換会
参 加 者 小野事務局長・立花係長

令和7年度 ひきこもり支援推進事業実績報告

(1) ひきこもり当事者及びその家族等に対する相談支援

令和7年4月	3件	(新規1件)
令和7年5月	3件	(新規1件)
令和7年6月	3件	
令和7年7月	1件	
令和7年8月	2件	(新規1件)
令和7年9月	1件	
令和7年10月	2件	
令和7年11月	4件	(新規1件)
令和7年12月	2件	
令和8年1月	1件	
令和8年2月	2件	
令和8年3月	1件	
合計	25件	

(2) 社会的孤立者等（ひきこもり者等）を対象にした「居場所」の運営

1) 開催日時

- ・開催日 月2回（生活保護費支給日・第3火曜日）
- ・利用者 定期3名 不定期1名
- ・開催時間 午前10時から正午

2) スタッフ

- ・支援員（元町保健師、ヘルパー資格者など）3名（シフトで2名勤務体制）
- ・社会福祉協議会 相談支援包括化推進員

3) 居場所開所日と参加状況

開所日	当事者	支援員	関係者	合計	作業内容
4月 2日	2	3	0	5	切干大根の袋作成、袋づめ
4月15日	1	3	1	5	絵手紙色塗り
5月 1日	1	3	0	4	絵手紙色塗り、再生封筒作り
5月20日	1	3	0	4	ポップコーンむき
5月30日	1	2	0	3	絵手紙の色塗り
6月17日	2	3	0	5	ドライブツアー（美幌峠）
7月 1日	1	3	0	4	絵手紙色塗り
7月15日	0	3	0	3	アンケート発送準備
8月 1日	1	3	0	4	アンケート発送準備
8月19日	1	1	0	2	絵手紙色塗り
9月 1日	3	3	0	6	再生封筒づくり
9月16日	2	2	0	4	絵手紙色塗り・再生封筒作り
10月 1日	1	2	0	3	ガチャガチャのポップコーン詰め
10月21日	2	2	0	4	絵手紙色塗り
10月31日	2	2	0	4	再生袋づくり

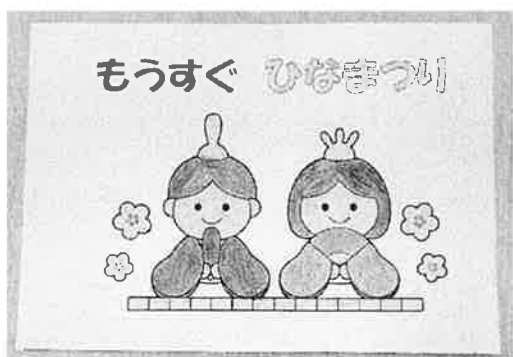
1 1 月 1 8 日	1 2	2 1	0 0	6	ドライブツアー（北見） 再生袋づくり
1 2 月 1 日	2	3	0	5	黒大豆選別
1 2 月 1 6 日	1	3	0	4	黒大豆袋詰め
1 2 月 2 5 日	1	3	0	4	絵手紙色塗り
1 月 2 0 日	1	3	0	4	絵手紙色塗り
1 月 3 0 日	1	3	0	4	切干大根袋詰め
2 月 1 7 日	1	3	0	4	絵手紙色塗り
2 月 2 7 日	1	3	0	4	切干大根袋詰め
3 月 1 7 日	1	3	0	4	絵手紙色塗り
計	3 3	6 5	1	9 9	

4) 作業内容

- ・社協あぐりの収穫作物の袋づめ作業など



- ・絵手紙の色ぬり
旭町第3自治会の訪問活動時に配布



5) ドライブツアー実施

町外への外出や余暇活動など目的にドライブツアーを実施。

第1回 日 時 令和7年6月17日（火）

行 先 美幌峠

喫茶えくぼ（昼食）

シティ美幌（買い物）

参加者 利用者2名 支援員2名 職員1名 計5名



第2回 日 時 令和7年11月18日（火）

行 先 北見ハッカ記念館

イオン北見（昼食・買い物）

利用者1名 支援員1名 職員1名 計3名



（3） ひきこもり支援に関する関係機関との連携及びネットワークづくり

1） 津別町保健福祉課健康推進係からの情報提供

日 時 令和7年4月28日（金）

対応者 小野事務局長・立花係長

内 容 健康推進係で関わっているひきこもりケース（12事例）について、
担当保健師から情報提供、今後の引き継ぎ方法について検討を行った。

2） 津別町保健福祉課健康推進係からの対応相談

4月に情報提供のあった事例の引継ぎ依頼があったが、本人、家族ともに福祉的就労を希望していることから、相談支援事業所につなぎ、福祉的就労の継続ができない状況になった時に社協で関わることになった。

（4） ひきこもり支援に関する情報発信

1） ひきこもり支援の周知のためのチラシ折り込み

・ 家族対象

令和8年2月下旬に、経済の伝書鳩 1,814部、北海道新聞 900部
読売新聞 350部のチラシを折り込み

・ 当事者対象

令和8年3月上旬に、経済の伝書鳩 1,814部、北海道新聞 900部
読売新聞 350部のチラシを折り込む

2） ホームページ

ひきこもり支援についての周知やLINE相談について掲載を継続している。

3) LINE 相談

いっぽサポートステーションのLINEにて相談対応をしている。

(5) その他ひきこもり支援に関し必要な事項

1) ひきこもり家族学習会

日 時 令和8年3月12日(木) 午後1時30分～午後3時
場 所 津別町役場 ボランティア室
参加者 なし

2) 実態把握調査

名 称 「地域における『ご近所つきあい』に関する調査」
実施期間 令和7年8月19日～令和7年9月30日
対 象 者 13自治会 427世帯
回 収 数 359世帯
回 収 率 84.1%

① 事前打ち合わせ

日 時 令和7年6月18日(水) 午前10時15分～12時30分
出席者 大阪公立大学 野村教授
津別町保健福祉課 佐々木福祉係長
津別町社会福祉協議会 立花係長
内 容 実施に当たっての全体的な流れ
調査員について

② 対象自治会への調査実施説明会

日 時 令和7年7月30日(水) 午前10時～午前11時
場 所 津別町役場 健診ホール
出席者 対象自治会自治会長5名
(本岐市街・旭町第3・本町・活汲中央・緑町第1)
大阪公立大学 野村教授
北海道総合研究調査会 切通調査部長
津別町保健福祉課 仁部課長、兼平課長補佐
佐々木福祉係長
津別町社会福祉協議会 小野事務局長、立花係長

内 容 調査概要説明

③ 訪問調査員事前勉強会

日 時 令和7年7月29日(火) 午後2時30分～午後4時
場 所 津別町役場 大会議室
参加者 会場参加
大阪公立大学 野村教授
北海道総合研究調査会 切通調査部長
津別町役場 保健福祉課 佐々木福祉係長、河野主任
津別町社会福祉協議会 小野事務局長、山口主事、
立花係長

オンライン参加

大阪公立大学学生 NTT東日本防災研究所

④ 調査分析作業のための事前打ち合わせ

日 時 令和7年11月19日（水）午後3時～午後5時
 出席者 大阪公立大学 野村教授
 北海道総合研究調査会 切通調査部長
 津別町保健福祉課 佐々木福祉係長、河野主任
 津別町社会福祉協議会 山田会長、小野事務局長、
 山口主事、立花係長
 オブザーバー NTT東日本防災研究所 稲垣課長
 内 容 今回の集計速報値、2015年の分類視点をふまえて、今回の
 分析方法について検討を行う。

⑤ 調査分析作業

期 間 令和7年11月19日（水）～令和8年2月9日（月）
 全9回
 対象数 調査票を回収した359世帯
 対応者 津別町保健福祉課 佐々木福祉係長、河野主任
 津別町社会福祉協議会 小野事務局長、門脇事務局次長
 山口主事、立花係長

⑥ 調査結果報告会

期 間 令和8年3月27日（金）午後6時～午後7時30分
 場 所 津別町役場 健診ホール ※ハイブリットにて開催
 参加数 会場 町民16名 町職員6名 社会福祉協議会職員5名
 オンライン 大阪公立大学野村教授
 NTT東日本防災研究所4名
 社会福祉法人あさか会4名 合計36名
 内 容 「地域における「ご近所つきあい」に関する調査」の調査
 結果報告

（6）関係機関等との打ち合わせ、視察、講師対応など

1）こころのリカバリーセンターとの打ち合わせ、情報交換など

日 時 令和7年10月22日（水）
 場 所 津別町役場 ボランティア
 内 容 ひきこもりの支援の展開、手法等について

2）視察対応

日 時 令和7年11月26日（水）
 場 所 津別町役場 大会議室
 依 頼 先 鷹栖町・鷹栖町社会福祉協議会・富良野市社会福祉協議会
 内 容 「ひきこもりの実態調査の実施等について」
 「ひきこもり者等社会的孤立者への支援について」
 対 応 者 山田会長、小野事務局長、門脇事務局次長、立花係長

3) 講師対応

- ①日 時 令和7年7月25日(金) 午前9時～午前10時30分
場 所 津別町役場 多目的活動室(オンライン)
依 頼 先 大阪公立大学院現代システム科学研究科 野村教授
内 容 「地域における「ご近所つきあい」に関する調査」に参加
する大阪公立大学の学生対象に津別町の福祉について説明
対 応 者 立花係長
- ②日 時 令和7年10月7日(水) 午後1時30分～午後4時
場 所 津別町役場 多目的活動室(オンライン)
依 頼 先 大阪府社会福祉協議会 大阪人材支援センター
内 容 実践報告「社会的孤立を予防するために」
グループワークのコメント
対 応 者 立花係長
- ※事前打ち合わせ
- ・日 時 令和7年9月4日 午前10時～10時30分
場 所 津別町役場 多目的活動室(オンライン)
対 応 者 立花係長
内 容 当日の流れの打ち合わせ
 - ・内 容 令和7年9月15日 午後6時～午後6時30分
場 所 津別町役場 ボランティア室
対 応 者 立花係長
内 容 講義資料、グループワークの進め方

(7) 職員研修

- ①日 時 令和8年1月27日(火) 午後2時～午後2時40分
用 務 地 津別町役場 社協執務室(オンライン)
内 容 令和7年度第5回どうねっと情報交換会
就労支援についての情報交換
参 加 者 小野事務局長・立花係長
- ②日 時 令和8年2月10日(火)
用 務 地 津別町役場 社協執務室(オンライン)
内 容 孤独・孤立する若者に迫る消費者被害
「つながりから始める若者支援」
参 加 者 小野局長

福祉有償運送事業

■福祉有償運送事業

- ・ 自家用有償旅客運送者登録関係（福祉有償運送）
 - 登録番号 北北福第 30 号
 - 登録年月日 平成 29 年 6 月 21 日（北運企第 129 号）
 - 登録の有効期間 2025 年 4 月 1 日から 2028 年 3 月 31 日
- ・ 車両台数 4 台（内車イス対応車 3 台）
 - 津別町無償貸与車（車イス対応車）
 - 24 時間テレビ寄贈車（車イス対応車）
 - 北海道リースレンタル車（車イス対応）
 - 社協活動車（予備車）
- ・ 運転手 12 名（内事務局 5 名）
- ・ 登録者数 323 名（令和 8 年 3 月末）
- ・ 利用実績（令和 7 年度）

月	実利用人数	延利用回数	利用金額
4 月	33 名	149 回	266,170 円
5 月	29 名	105 回	150,900 円
6 月	31 名	125 回	150,800 円
7 月	34 名	167 回	161,740 円
8 月	31 名	149 回	102,110 円
9 月	29 名	160 回	132,700 円
10 月	30 名	163 回	160,270 円
11 月	27 名	143 回	148,670 円
12 月	34 名	202 回	268,780 円
1 月	33 名	194 回	351,110 円
2 月	27 名	173 回	272,120 円
3 月	31 名	156 回	314,940 円
合計	月平均 30.75 名	1,886 回	2,480,310 円

- ・ 行き先別延回数
 - 津別町内 1,352 回 美幌町 180 回 北見市 332 回 網走市 22 回

地域老人懇談会助成事業

地域福祉活動を推進するため、自治会単位で高齢者の交流、福祉・健康教室、地域防犯教室等に関する研修事業を開催するときに助成をする。

- ・対象者は70歳以上の方
- ・20名までは1名1,000円、21名から1名500円

実績： 12自治会（東達美、活汲中央、共和第2、幸町、達美町、豊永第3、
豊永第4、共和第3、新町、緑町第1、本町、柏町）

助成金合計： 225,500円

あんしん電話（緊急通報装置）の推進

・独居高齢者などの不安解消と急病などの緊急時に、迅速かつ適切な対応を図るため、ボタンを押すと近隣の協力者に通報がいく装置の設置を推進する。

1、令和7年度の設置者

2名 ※新規申込みなし

2、装置使用料金の助成

- ・月額使用料 380円
- ・助成金額 1ヶ月180円

3、斡旋機種

シルバーフォンあんしんS

【取り扱い業者】

NTT東日本 北海道 北見支店

介護器具の貸出事業

障がい等により介護器具が必要な方に車イスの貸出を行う。

- ・貸出期間 1ヶ月以内
 - ・利用料 無料
- ※長期間（1ヶ月以上）必要な方には、業者を斡旋する。

給食サービス事業

週 2 回 (火・金) ひとり暮らしの在宅者等に対して食事を提供することにより、安否の確認、孤独感の解消、食生活の改善等を図る。

(実績と評価)

【 年間の利用者数 】 実人数 58 人 延べ人数 553 人 月平均 46 人

【 年間の食数 】 弁 当 3,967 食
月平均 330 食

【 年間のボランティア数 】 登録実人数 19 人 延べ人数 618 人

月	回数	利用者 実人数	食 数		ボランティア数	
			お弁当	みそ汁	実人数	延べ人数
4 月	9	58	425	59	17	51
5 月	9	52	390	58	18	54
6 月	8	49	325	52	19	48
7 月	9	49	363	54	19	54
8 月	9	44	339	49	19	52
9 月	9	46	344	50	18	54
10 月	9	47	360	49	17	54
11 月	8	46	318	44	19	48
12 月	9	46	305	44	17	53
1 月	8	42	280	37	17	48
2 月	8	39	249	28	18	48
3 月	9	35	269	32	19	54
計	104	平均 46	3,967	556	平均 18	618

※年末のおせち 30 食

- ・利用者数が施設入所や転出により減少している。配達件数は減少しているが、3 か所に分かれて配達しているため、ボランティア 1 人が月に 3～4 回活動している状況である。ボランティアの負担を軽減のため新たな担い手を探す必要や配達区域の見直しも検討が必要である。

- ・給食サービス利用者・ボランティア交流会

令和 7 年 12 月 9 日

ふれあい郵便事業

町内在住の 80 歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、ボランティアが作成した絵手紙を月 1 回自治会協力者、郵便配達員が手渡しで配布し、安否の確認と不安の解消を図るため実施。

1、配布状況

月	自治会配布枚数	郵便局他配布枚数	合計
4 月	71	71	142
5 月	67	71	138
6 月	70	70	140
7 月	70	67	137
8 月	70	64	134
9 月	69	63	132
10 月	67	61	128
11 月	66	61	127
12 月	83	78	161
1 月	78	77	155
2 月	78	76	154
3 月	77	75	152
計	866	834	1,700

2、配布協力自治会（10 自治会）

自治会名	枚数	自治会名	枚数
新町	26	緑町第 1	75
旭町第 1	26	共和第 2	164
旭町第 2	88	共和第 3	81
旭町第 3	152	共和第 4	88
柏町	54	豊永第 3	84
高台町	28		

※共和第 2 自治会は、9 月から自治会配布実施。

3、活動日 第 2 月曜日 13:00～

介 護 サ ー ビ ス 事 業

- ・訪問介護事業、訪問入浴介護事業及び障害福祉サービス事業を実施し、介護利用者の立場に立ったサービスの提供に努めるとともに、予防給付者の自立支援に向けたサービスの提供に努めた。

1. 訪問介護・介護予防訪問介護事業

利用者数 延 701 人 回数 3,987 回 時間 4103.5 時間

2. 訪問入浴・介護予防訪問入浴

利用者数 延 0 人（実人数 名） 回数 0 回

3. 障害福祉サービス事業

利用者数 延 54 人 回数 262 回

- ・町から委託を受けた、安否確認訪問事業、生活援助員派遣事業を実施し、介護保険サービスを受けることができない方に対して、声掛けなどをおこない不安解消に努めた。

1. 安否確認訪問（介護予防把握事業） 56 件（1 件 915 円）

2. 安否確認訪問（認知高齢者見守り事業） 23 件（1 件 915 円）

・ミーティング 毎月 1 回

・内部研修 毎月 1 回

4 月 福祉制度とグレーゾーン

5 月 高齢者虐待とは？

6 月 高齢者疑似体験

7 月 脱水症・食中毒予防

8 月 感染予防

9 月 認知症ケア

10 月 緊急時対応マニュアル

11 月 学習会報告・訪問介護の手引き確認

12 月 認知症ケアから考える高齢者虐待防止の視点

1 月 プライバシー・接遇・法令順守

2 月 腰痛予防マニュアル

3 月 今年度の反省と次年度の計画

(会議・研修会等参加状況)

■介護サービス事業者連絡会議 毎月1回(原則10日) 健診ホール

■美幌町・津別町タウンミーティング

令和7年7月23日(水) 18:30 ~ 20:00 美幌しゃきっとプラザ

参加者 村松主任、青山副主任、小泉ヘルパー、溝渕ヘルパー

■北海道ホームヘルプサービス協議会第1回正副会長、幹事合同会議

代議員総会・全道研究発表会

令和7年7月7日(月) ~ 8日(火) 門脇事務局次長

■北海道ホームヘルプサービス協議会地区別資質向上研修会

令和7年9月11日(木) 17:30 ~ 19:00 網走市 門脇事務局次長

参加者 村松主任、青山副主任、小泉ヘルパー、溝渕ヘルパー

■高齢者虐待防止研修会

令和7年11月14日(金) 18:30 ~ 20:00 健診ホール

「養護者による高齢者虐待における事業所の役割と連携について」

参加者 村松主任、青山副主任、小泉ヘルパー、溝渕ヘルパー

■障害サービス事業所集団指導(オンライン)

令和7年11月29日(水) 9:30 ~ 12:00 門脇事務局次長

■介護保険施設等集団指導(オンライン)

令和7年11月29日(水) 13:15 ~ 15:30 門脇事務局次長

■津別町医療・介護・福祉専門職のための学習会

令和7年11月29日(火) 18:30 ~ 20:30 健診ホール

参加者 村松主任、青山副主任、小泉ヘルパー、溝渕ヘルパー

■津別町高齢者虐待防止ネットワーク会議

令和8年2月3日(火) 14:00 ~ 健診ホール 小野事務局長

■令和7年度第1回虐待防止及び身体拘束等適正化委員会

令和8年2月19日（木）18：30 ～

出席者 小野事務局長、村松主任、青山副主任、小泉ヘルパー、溝渕ヘルパー

■北海道ホームヘルプサービス協議会第2回正副会長、幹事合同会議

令和8年3月4日（水）オンライン 門脇事務局次長

■医療・介護連絡推進会議

令和8年3月10日（火）10：30 ～ 健診ホール 門脇事務局次長・四條主事

～ 介 護 保 険 事 業 ～

◆訪問介護・介護予防訪問介護・訪問入浴介護実績（人数、回数、時間）

【訪問介護・介護予防訪問介護】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業 対象者	人数	11	11	10	10	10	9	10	10	9	9	9	8	116
	回数	47	44	41	43	35	33	49	38	35	37	37	36	475
	時間	47	44	41	43	35	33	49	38	35	37	37	36	475
要支援 1	人数	10	10	8	6	8	8	9	8	10	12	10	11	110
	回数	48	44	34	30	32	37	48	38	46	46	44	52	499
	時間	48	44	34	30	32	37	48	38	46	46	44	52	499
要支援 2	人数	8	10	10	12	12	13	14	13	14	13	13	12	144
	回数	48	57	53	62	60	70	72	63	66	60	63	68	742
	時間	47	55.5	52	61	59	69	72	63	66	60	63	68	735.5
介護1	人数	19	18	17	18	18	16	18	20	20	19	19	18	220
	回数	123	114	103	119	107	110	129	123	118	119	110	126	1401
	時間	128	116.5	106	130	108.5	115	135.5	131	124.5	112.5	108	120	1435.5
介護2	人数	8	9	8	7	5	5	6	6	6	4	5	6	75
	回数	53	55	51	42	35	36	51	45	46	36	38	43	531
	時間	63.5	65	58.5	54	45.5	47.5	64.5	57	58	46.5	46	55.5	661.5
介護3	人数	3	2	2	2	2	2	2	2	2	3	2	2	26
	回数	16	17	18	18	14	18	18	14	17	21	16	18	205
	時間	15.5	17	18	18	14	18	18	14	17	20	16	18	203.5
介護4	人数					1	1	1	1	1	1	1	1	8
	回数					4	9	3	6	2	5	5	5	39
	時間					4	9	1.5	6.5	1	3	4	3	32
介護5	人数					1	1							2
	回数					60	35							95
	時間					39	22.5							61.5
合計	人数	59	60	55	55	57	55	60	60	62	61	59	58	701
	回数	335	331	300	314	347	348	370	327	330	324	313	348	3987
	時間	349	342	309.5	336	337	351	388.5	347.5	347.5	325	318	352.5	4103.5

【訪問入浴介護・介護予防訪問入浴介護】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	人数													0
	回数													0
	人数													0
	回数													0
合計	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

■年度別介護保険事業実績状況

年度	介 護	入 浴	合 計	年度	介 護	入 浴	合 計
H12年	7,639,450	2,157,810	9,797,260	H25年	16,272,166	1,468,233	17,740,399
H13年	6,410,560	1,911,970	8,322,530	H26年	15,003,051	1,693,493	16,696,544
H14年	8,889,170	1,813,070	10,702,240	H27年	18,919,450	569,378	19,488,828
H15年	13,270,840	1,581,310	14,852,150	H28年	22,851,805	1,282,300	24,134,105
H16年	14,252,410	2,902,410	17,154,820	H29年	23,469,960	725,890	24,195,850
H17年	12,279,270	1,991,050	14,270,320	H30年	20,065,424	1,101,470	21,166,894
H18年	11,660,920	1,451,200	13,112,120	R元年	19,941,062	858,330	20,799,392
H19年	11,364,240	1,135,700	12,499,940	R2年	22,124,360	72,393	22,196,753
H20年	14,330,830	776,300	15,107,130	R3年	22,872,404	44,480	22,916,884
H21年	12,780,180	345,010	13,125,190	R4年	21,254,999	0	21,254,999
H22年	13,789,360	129,380	13,918,740	R5年	20,483,722	0	20,483,722
H23年	14,887,000	431,250	15,318,250	R6年	19,149,054	0	19,149,054
H24年	18,448,662	1,007,728	19,456,390	R7年	17,923,638	0	17,923,638